

令和2年度 百々小だより 後期学校評価特別号

【学校教育目標】 学び合い つながり合い

～安心と自信に満ちて主体的に学び、言葉・見方・考え方を働かせ、課題解決できる子～

京都市立百々小学校

校長 山本 直樹



◎「よく出来ている」「大体できている」との回答結果

設問（児…児童 保…保護者 教…教職員）		後期（％）	前期（％）
豊かな心			
児	学校は楽しいですか。	90.6	90.0
保	子どもは、楽しく学校に行っている。	95.8	95.8
教	子どもは、楽しく学校生活を送っている。	97.1	96.8
児	学校のきまりや約束を守っていますか。	86.0	91.9
保	子どもは、学校のきまりや約束を守っている。	95.3	94.6
教	子どもは、学校のきまりや約束を守っている。	79.4	87.1
児	相手に届くあいさつをしていますか。	80.5	83.3
保	子どもは、明るく元気なあいさつができています。	80.0	78.2
教	子どもは、明るく元気なあいさつができています。	76.5	62.5
児	自分や人を大切にしていますか。	93.4	93.6
保	子どもは、自分や人を大切にできる気持ちや態度が育っている。	94.9	91.6
教	子どもは、自分や人を大切にできる気持ちや態度が育っている。	85.3	93.3
児	家でも学校でも時間を守って活動することができますか。	76.9	83.4
保	子どもは、時間を守って活動している。	81.3	76.7
教	子どもは、時間を守って活動している。	82.3	77.4
児	先生や家族に困ったことを相談したり、学校の出来事などを話したりしていますか。	77.7	81.6
保	子どもは、困っていることや学校の出来事などを家で話している。	85.1	86.6
教	子どもは、困っていることを相談したり、出来事を話したりしている。	94.1	90.3
確かな学力			
児	家や学校などで進んで読書をしていますか。	58.1	65.0
保	子どもは、家で進んで読書をしている。	31.9	29.4
教	子どもは、学校で進んで読書をしている。	47.0	51.9
児	自分のめあて（学級目標、学習、生活）に向かって努力をしていますか。	80.9	84.1
保	子どもは、いろいろな目標に向かって努力している。	69.6	66.3
教	子どもは、目標をもち、その達成に向けて努力している。	82.4	92.3
児	家で宿題などの家庭学習をきちんとしていますか。	91.0	88.9
保	子どもは、宿題などの家庭学習をきちんとしている。	88.1	88.8
教	子どもは、宿題などの家庭学習をきちんとしている。	91.1	100.0
児	授業でわかったり、できるようになったりしていますか。	92.5	92.8
保	子どもは、分かるまで学習に取り組んでいる。	68.5	71.5
教	子どもは、分かるまで学習に取り組んでいる。	70.6	85.2
児	人の話をよく聞き、自分の考えをしっかりと話していますか。	78.6	84.0
保	子どもは、人の話をよく聞き、自分の考えをしっかりと話している。	69.0	65.5
教	子どもは、人の話をよく聞き、自分の考えをしっかりと話している。	50.0	64.3
児	学習の準備を自分できちんとして、忘れ物をしないように気をつけていますか。	85.1	87.3
保	子どもは、学習の準備を自分できちんとしている。	86.4	85.0
教	子どもは、忘れ物をしないように気をつけている。	70.5	74.1
健やかな体			
児	早寝・早起き・朝ごはんを心がけ、健康に気をつけていますか。	80.2	80.7
保	子どもは、基本的な生活習慣（早寝・早起き・朝ごはん）が身についている。	83.1	80.2
教	子どもは、基本的な生活習慣（早寝・早起き・朝ごはん）が身についている。	76.5	62.1
児	日頃から外遊びや運動をしていますか。	79.4	80.2
保	子どもは、日頃から外遊びや運動をしている。	69.4	67.8
教	子どもは、日頃から外遊びや運動を積極的に行っている。	97.0	76.7

2月に学校評価のアンケートを実施いたしました。その結果と考察をお知らせいたします。これらの結果を参考に今後の学校教育活動にいかしていきたいと思います。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。

＜結果の考察＞

前期に引き続き、児童・保護者・教職員ともに、90%以上の児童が学校生活を楽しみ過ごし、充実したものとなっているようです。また、宿題など家庭学習が定着してきていると感じています。さらに、自主学習も充実させ、自分で考え学習する力を身につけてほしいと思います。

前期の学校アンケートで肯定的な回答の割合が低く、課題として挙げていた3つの項目の変容は以下の通りです。

① あいさつについて

前期のアンケートでは、大人と子どもとの数値に差がありましたが、今回のアンケート結果では、差が縮まりました。学校では、自分たちのあいさつを客観的に観る機会を設けました。学級でふり返り、あいさつに対する意識を高めたり、気持ちの良いあいさつを褒めたりするなど、取組の成果が少しずつ表れてきたと考えられます。学校の取組に加え、家庭や地域でも大人から積極的にあいさつをしてくださっていることもあり、相手に届く声で気持ちの良いあいさつをする児童が増えてきました。次年度は、門の前だけでなく、出会ったら自然にあいさつのできるよう、今後も子どもたちに働きかけていきたいと思っています。

② 読書について

前期と同様、進んで読書をする児童は少ないです。学校では、朝の読書時間・図書ボランティアによる読み聞かせ・学校司書による読書環境の充実など、様々な取組を進めてきましたが、読書率向上にはつながりませんでした。次年度に向けて、取組をさらに充実させたいと考えております。生涯学習において活字に慣れたり、創造力を磨いたりすることは大切なことです。読書はその入口となりますので、家庭でも本に触れ合う機会をより多く取っていただけたらと思います。

③ 話す・聞く力について

前期に引き続き、人の話をよく聞き、自分の考えを話す力に課題が見られます。コミュニケーション不足で子ども同士のトラブルも増えてきました。学習の中で、話し合い活動を積極的に取り入れ、考えを出し合うことで課題の解決に向かうことができるというよさを経験していけるような授業改善に努めていきたいと思っています。家庭でも、「聞いているかな？聞いたことを理解しているかな？」と意識的に確かめ合うような時間を大切にしてほしいと思います。子どもの話をしっかりと聞き、大人もたくさんの言葉を使うことで話す・聞く力の向上につながると考えています。また、ゲームやスマートフォン、インターネットの使用の増加がコミュニケーション能力の低下の原因の一つと考えられます。使用時間・使用方法について、今一度、子どもと一緒に確認し、話す・聞く力の向上を図りたいと思います。

アンケートの結果を百々小学校全教職員で共通理解をし、次年度に向けて取組を進めていきたいと思っています。今後とも、変わらぬご支援・ご協力をお願いいたします。

学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。